

情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

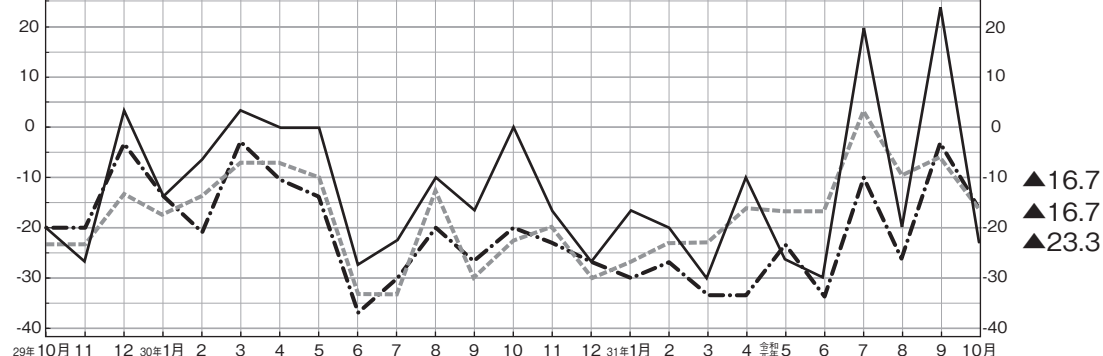
2019年10月（前年同月比）

DI=(増加、好転)-(減少、悪化)

DI(景気動向指数)

情報連絡員報告(令和元年10月)

売上高
収益の状況
業界の景況



業界の状況



…好転



…やや好転



…不変



…やや悪化



…悪化

食品団地

10月度商況は平年並み。年末商戦の商談が始まり、県内外大手企業からの引き合いが好調にスタートしており、今後が期待されている。

酒類製造

9月増税の仮需も目立ったものではなかった分、注視した増税の影響は出荷量をみる限り見られない。しかし、前年度の数字が低かったこともあり、特定名称以外のものが依然として苦戦している。

テントシート

各種材料費の値上りに伴う在庫数量も通常年度の環境に戻った状況である。原材料の値上げが、販売価格に上手く転嫁できていない状況にあると思われる。

木製品素材生産

搬入量は、スギ・ヒノキともに1割程度の増。価格については、スギ・ヒノキともに単位当たり1,000円程度の上昇。

製材

業況、原木価格にも大きな変化無く、現状維持の状態が続いている。

製紙（家庭紙）

増税前の駆け込み需要の反動、輸入品の増加、国内大手メーカーの増産を受けて、製品価格が今後値下げ競争に入らなければ良いが…。県内家庭紙メーカーの稼働率は順調。

印刷

県内需要の官公需は低調。民需に関して先月の消費税駆け込み需要の影響もあり落ち込む。県外需要に関しては業種によりばらつきはあるが微減模様。全体で前年を下回った。

生コンクリート製造

県合計の出荷量は前年同月比103%だが、需要の地域差が大きい。

コンクリート製品

出荷数量は前年同月比216%。市況は、減少傾向が続いていたが、5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加に転じ、10月分も継続している。

機械団地

例年落ち込みがみられる時期に受注を確保できたとする企業がある一方で、上半期に比べて売上が伸びなかったとする企業があり、団地内の業況にはバラつきがある。

刃物製造

売上は前年と比べ金額的には若干の減少となった。価格の改定、税率の上昇を考えると落ち込みはもっと大きいものではないかと思われる。

船舶製造

受注残の消化にて、操業度は高い水準で推移している。

珊瑚装飾品製造

10月度製品会取引高は、前年度同月比93%であった。小売店、デパート関係の売上げが伸び悩んでいるからか、今期より製品取引高はますます低迷している。

卸団地

消費税増税の影響が売上に影響し始めており、廃業する外食店が目についた。特に店舗の老朽化が進んでいる老舗店を営む個人店が多く閉店している。今後も経営者の高齢化が進み、多くの店舗が閉店していくと思われる。

青果卸売

昨年同月は販売価格も高値であった為、本年10月は極端に売上が低下してしまった。少子高齢化の進む中では売上高の増加は見込めない。何より県内の若者雇用の促進を…。

生鮮魚介卸売

大型台風が日本近海に複数来たために、売上の減少につながったと考えられる。マグロ、小物の入荷は少ない。カツオは高値でも少し入荷はあった（台風の前夜4～5日は入荷なし）。

各種小売（土佐市）

連休もあったが、あまり人の動きは見え、特に変わらなく厳しい状態が続いている。

ガソリンスタンド

原油相場は、世界経済が減速し、エネルギー需要が伸び悩むとの懸念を背景に軟化し、10月上旬から2週連続して下落した。よって高知県の市況も10月中旬に2～3円ほど下落した。

電気機械器具小売

前年比96%。全商品消費税増税の反動で、前年比マイナスになった。

中古自動車小売

10/22JU高知青年部主催のオークションを開催。出品台数は前年10%UPだったが、単価、成約率は充実した内容だった。

商店街（安芸市）

商店街でハロウィンイベントを実施。仮装をした子ども達約150人が、お店を回りお菓子をもらった。今年はALTによる英語でのお店紹介や地元高校生ボランティアによる楽器演奏、介護施設からは綿菓子のサービスなど、大盛況に終えることができた。

商店街（高知市）

中央公園地下駐車場利用状況（前年比）売上：95.5%、台数：95.4%。増税前に販促活動を展開した店舗は売上に若干へこみがあるものの全体的には影響は少なかった模様。クレジットによる売上が若干増加。

商店街（四万十市）

ウルトラマラソンが行われ、宿泊施設はその前後あわせて満室であった。ふるさと納税のポイント説明会が行われたが、参加者は少なかった。年配の店主には参加しづらいかもしれない。

旅館・ホテル

月末に開催された全国大会や市内、また地域イベントが各地であり、例年空室に悩まされる平日や日曜の稼働を押し上げ、好結果となった。

飲食店

増税が、集客・売上高の減少に大きく影響した。キャッシュレスを導入した事業所でも売上増のケースは少なかった。東日本の台風と豪雨の影響も大きく後半は更に集客が減った。前年同月と比較すると景況ははっきりと悪化している。

旅行業

組合クーポン売上前年同月対比110%、全旅クーポンを加味して89%。前月に引き続き、自然災害の影響もあるか売上が減少気味。前年同月総売上は95%。

一般土木建築工事

公共土木用生コン出荷量は、前月比120.2%、前年同月比153.4%。公共工事請負金額は前年同月比116.2%、前年対比累計135.2%。R1/10末時点での発注者別前年対比累計では、国：117.7%、高知県：149.3%。

電気工事

組合員の施工する電気引込線関連の工事は前年同月比96.7%と、ほぼ前年と同様であった。

一般貨物自動車運送

燃料価格は当初値上げ予想だったが前月から横ばいとなり一息つけたが、荷動きはかわらず鈍い。組合事業も若干のマイナスとなった。

タクシー

実働1日1車当りの前年同月比営業収入：99.2%、輸送回数：99.5%。当月の実働率：63.7%。消費税率改定により、夜の歓楽街でのお客様が減ったという傾向が業界で言われている。夜間のタクシー需要が減少。



あなたの挑戦のそばに
三井住友海上はいつもいます。



安心のゴールキーパー



クルマの保険
すまいの保険
ケガの保険



立ちどまらない保険。

MS&AD

三井住友海上

www.ms-ins.com



MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Bars logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.